

JBAのABS支援活動

平成24年9月26日

**「生物多様性条約のアクセスと利益配分
—名古屋議定書とその実施を巡って」**

一般財団法人 バイオインダストリー協会
生物資源総合研究所
野崎 恵子

バイオインダストリー協会 (JBA)

Japan Bioindustry Association

■ 歴史

1942年 酒精協会として創立

1987年 (財)バイオインダストリー協会に名称変更

2011年 一般財団法人に移行

■ 活動内容 (www.jba.or.jp)

10月末
リニューアル!

1. 政策提言・政策対話

2. 先端バイオ情報提供 (シーズ発掘、産業化、年間セミナー40回)

3. オープンイノベーションの推進 (BioJapan、ベンチャー支援等)

4. 国際ネットワーク (アジア連携等)

5. バイオインダストリー発展の基盤整備

(遺伝資源、カルタヘナ法、知的財産、人材育成、等)

6. 研究奨励 (バイオインダストリー協会賞等)

JBA/ABS活動(1)

- 1991 「アジア諸国における研究開発基盤形成に関する基礎調査(熱帯地域と生物多様性の保全に関する基礎調査)」
(通商産業省)
- 1993-1995「熱帯生物機能の利用技術」(NEDO)
- 1993-1999「生物多様性の保全と持続可能な利用等に関する研究協力」(ODA)
共同研究開始 タイ(1993),インドネシア(1994),マレーシア(1995)
- 1995 生物多様性条約に初参加(COP2)
- 1998 生物資源総合研究所設立
- 1999 「遺伝資源アクセスガイドブック」発行(手引前身)
- 2001 製品評価技術基盤機構の中に、BRC設置
- 2002 「環境対応技術開発等(生物多様性条約に基づく遺伝資源アクセス促進事業)」(経済産業省)～現在

JBA/ABS活動(2)

■ ABS情報提供

- ・説明会開催
- ・専用WEBサイト (www.mabs.jp)



■ 相談窓口 **無料 & 守秘!**

累計430件(2004~2012.9)

■ 海外アクセスルートの開拓

- ・2国間ワークショップ
- ・現地調査



インドネシアWS (2011)

■ 国際交渉への参加

- ・政府への助言(タスクフォース委員会)
- ・国際交渉における政府への支援



政府間委員会 (2012.7)

本年度の活動

平成24年度環境対応技術開発等 (生物多様性総合対策事業)

- 遺伝資源に円滑にアクセスできる環境の整備
 - ・現地調査 ベトナム(12月予定)
 - ・ABSに関する相談窓口の設置(面談、メール、電話:通年)
バイオジャパン(10/7-10:パシフィコ横浜)
 - ・ABSに関する情報の発信
専用WEBサイト:通年(情報の整理と更新)
セミナー開催:7月(東京)、9月(大阪)、11月(東京,沖縄)
- COP11へ向けた国際交渉の支援
 - ・タスクフォース委員会の開催(6月、2月)
 - ・国際ワークショップの開催(状況に応じて)
 - ・国際交渉等への出席(ICNP-2:7月、COP11:11月)

専用WEBサイトの主な内容

(www.mabs.jp)

■ CBD関連国別情報

・各国法令と**日本語訳**

(参考: CBDのWEBサイト www.cbd.int/abs/measures/)

■ 資料室

生物多様性条約、ボン・ガイドライン、名古屋議定書、
遺伝資源へのアクセス手引、ABSパンフレット、**ABSアーカイブ**
ABS 議論の推移、CBD関連国際会議報告、
JBAのCBD/ABS関連発表資料・報告(過去セミナーの資料等)
委託事業報告書(H15年～ 国際会議、セミナー、関係資料)

Cop1-10すべての
ABS会合を網羅

■ **リンク** 有用な関係ホームページへ

■ **コンタクト** 相談フォーム

委託事業報告書内容 (例:21年)

■ 本編

会議報告、セミナー報告等

会議報告和訳、
各国法令、他の条約
専門家の考察、等

■ 資料編

- 生物多様性条約第7,8回Ad hocアクセスと利益配分作業部会報告書
- 生物多様性条約・アクセスと利益配分に関する国際的制度における遺伝資源に関連する伝統的知識に関する技術・法律専門家会合報告書
- 生物多様性条約第8条(j)項に関する第6回Ad hoc作業部会「遺伝資源に関連した伝統的知識」の議論に対する国際商業会議所の見解
- 第8回Ad hocアクセスと利益配分作業部会会合のための、バイオテクノロジー産業協会(BIO)と米国研究製薬工業協会(PhRMA)の見解と提案
- アクセスと利益配分に関する国際的制度と遺伝資源の利用について規律する他の国際文書・国際的協議機関との関係に関する研究
「食料及び農業に用いられる植物遺伝資源に関する国際条約と国連食糧農業機関の食料・農業遺伝資源委員会」(ITPGR-FA)
「世界貿易機関(WTO), 世界知的所有権機関(WIPO)及び植物新品種保護国際同盟(UPOV)」
「ABSの国際的制度と南極条約体制、国連海洋法条約との関係」
- 中国特許法における遺伝資源に関するABS規則

生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 —生物多様性条約の課題—

(財)バイオインダストリー協会 生物資源総合研究所(監修)
磯崎博司・炭田精造・渡辺順子・田上麻衣子・安藤勝彦(編)

生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS) の問題は、生物多様性条約 (CBD) の大きな論点の一つであるが、その内容が非常に複雑化しているため、その全容を理解するのは容易ではない。

本書は、CBDの基礎知識、CBD締結の経緯、ABS交渉の現状と課題、ABSに関する主要論点、国内外における取組、注目を集めたCOP10の結果と今後の課題など、企業や研究者が理解しておくべき内容をまとめたものである。

本書は、ABS問題に関する必読書である。

2011年3月26日
信山社より刊行(定価4,515円)

